

# ○当永(とうえい)発電所 (当麻町)



## 施設のみどころ！

←水車に入る水量を自動調整するゲートが真上から見学できます。

→建屋内の水車と発電機。発電期間中は、稼働の様子を間近で見学できます。



## (施設概要)

- ・当永発電所は、道内で初めて農業用水路の落差を活用した小水力発電施設で、平成30年より発電を開始しました。
- ・最大出力は139kW、年間計画発電量は708MWhで、これは一般家庭約240世帯分の消費電力に相当します。

## (見学箇所)

- ・ゲート部
- ・建屋内 (水車、発電機)

## (見学時間)

- ・30分(最短)～60分(最長)

## (見学目安人数)

- ・1枠あたり10人/班×2回

\* 最大20人

(ただし、見学内容・時間は要調整)

## (施設までのアクセス)

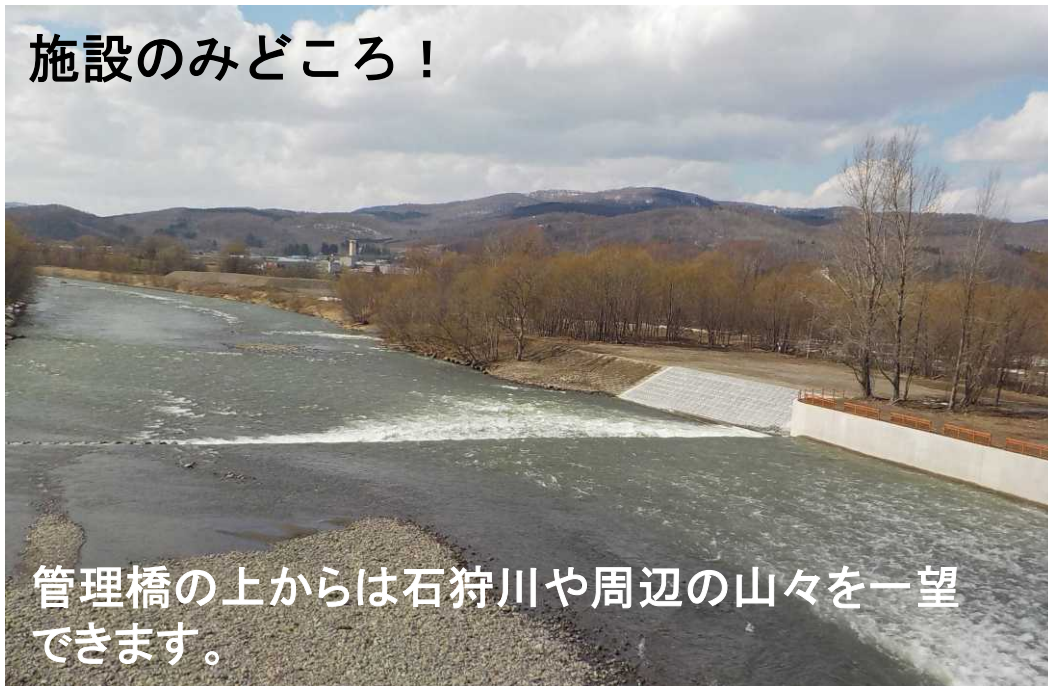
- ・旭川駅より車で約40分

## 当永発電所全景



# ○大雪頭首工(たいせつとうしゅこう) (愛別町)

## 施設のみどころ！



管理橋の上からは石狩川や周辺の山々を一望できます。

## (施設概要)

- ・大雪頭首工は、石狩川上流部に位置し、下流の旭川市や当麻町で使われる農業用水を取水しています。
- ・可動堰の長さは約90m。道内でも有数な農業水利施設として活躍しています。

## (見学箇所)

- ・管理橋

## (見学時間)

- ・20分(最短)～30分(最長)

## (見学目安人数)

- ・1 枠あたり10人/班×2回

\* 最大20人

(ただし、見学内容・時間は要調整)

## (施設までのアクセス)

- ・旭川駅より車で約45分



大雪頭首工全景

# ○当永発電所及び大雪頭首工（当麻町）

## 【駐車場・その他施設】

- ・ 駐車場：発電所敷地内に3台程度、大雪頭首工敷地内に2台程度駐車可能（大型バスは駐車不可）
- ・ トイレ：なし
- ・ エレベーター：なし
- ・ ゲート上部までの階段数は約20段

## 【オススメポイント】

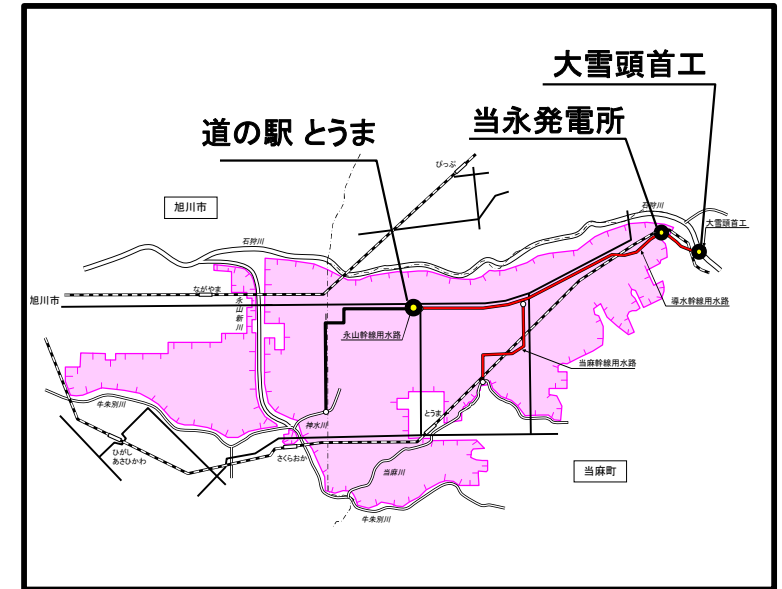
- ・ 発電所から車で約5分、用水路上流へ移動すると、石狩川に位置する「大雪頭首工」があり、発電所とあわせて本地区の農業水利施設を見学することができます。
- ・ 当麻町は水稲のほか、野菜の栽培も盛んであり、特に「でんすけすいか」は、贈答用として全国的に人気があります。道の駅「とうま」には物産館が併設されており、新鮮な野菜やでんすけすいか等を取り扱っています。



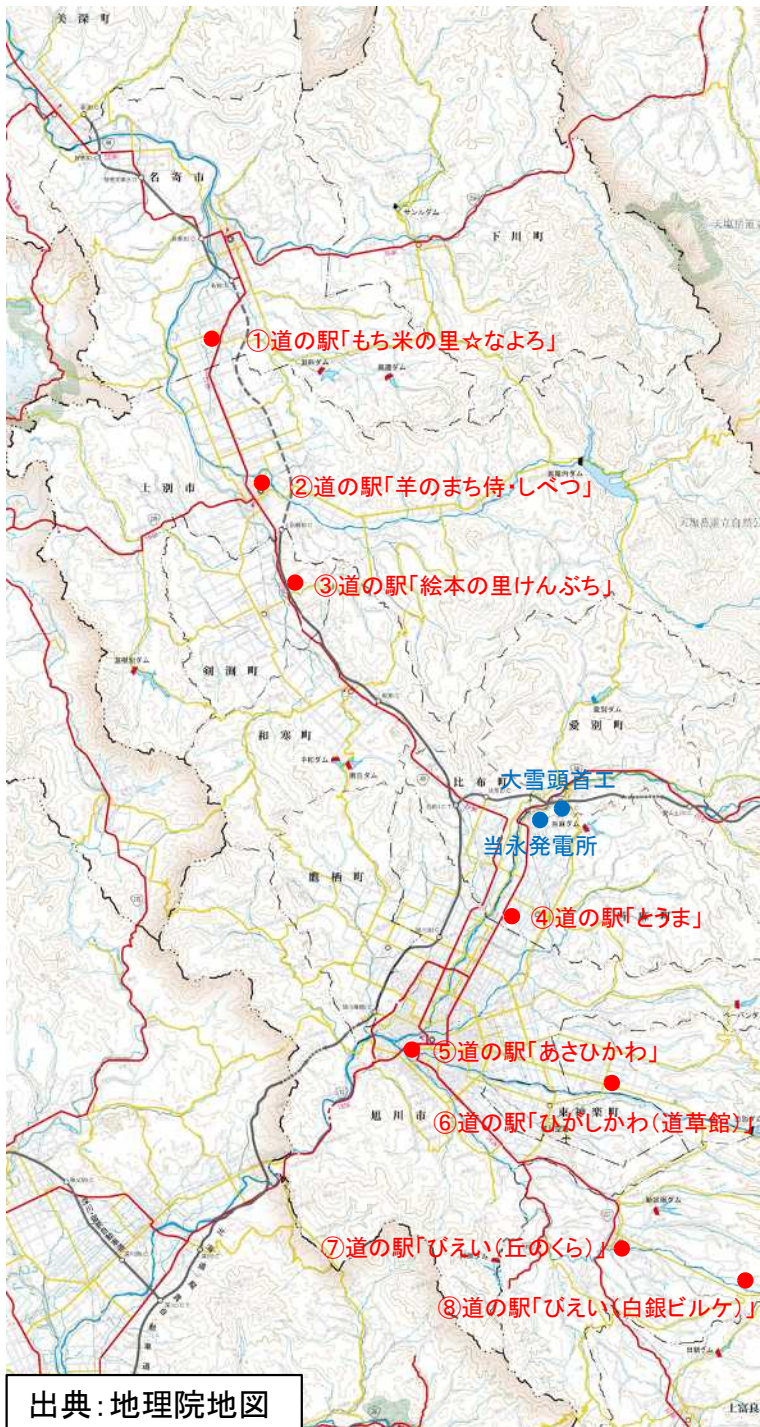
## 【注意事項】

- ・ 当永発電所に隣接する用水路への転落に十分ご注意ください。
- ・ 発電所敷地内は道幅が狭く、大型バス等は通行できません。
- ・ 発電期間は4月から11月です。期間外及びメンテナンス時などは、発電の様子をご覧いただけません。
- ・ 大雪頭首工は管理橋からの転落に十分ご注意ください。

## 【位置図】



# 参考) 昼食・お買い物スポット (農産物直売所、レストラン等)



出典: 地理院地図

関係施設周辺には、地元食材をふんだんに使ったレストランや農産物直売所などがございますので、昼食又は休憩等の参考にお知らせします。

## ①道の駅「もち米の里☆なよろ」

名寄市の南の玄関口として豊かな田園風景にたたずむ道の駅です。名寄名産の「もち米」にこだわった特産品や「安全・安心・新鮮・安価」を売りにした地元農産品をはじめ、地場産の食材を使ってするレストラン「お食事 風の寄り道」があります。

## ②道の駅「羊のまち侍・しべつ」

土別市を縦断する国道40号線と239号線の交差点で市内中心街にあり、地域を繋ぎ届ける施設で地域住民と観光客の交流の場として機能しています。また、地域のブランド羊肉「土別サフォークラム」などの市内特産品や名産品を販売するほか、レストランでは地元の食材を活かした料理を味わえます。

## ③道の駅「絵本の里けんぶち」

道の駅に入ると甘くて香ばしい焼きたてパンの香りがします。レストランや剣淵産の農産物を販売する直売所、地元特産品などのお土産も充実。自由に遊べる絵本と木の砂場のコーナーは親子に人気です。

## ④道の駅「とうま」

四季折々の当麻町の特産品を販売している当麻町物産館「でんすけさんの家」。館内には、数々の物産品が並ぶ販売コーナーがあり、また、無料休憩コーナーも設けられており、ドライバーの疲れを癒やしてくれます。

## ⑤道の駅「あさひかわ」

JR旭川駅の南側に位置しており、付近には、郷土博物館がある「大雪クリスタルホール」やアイスホッケーなどの様々な催しが行われる多目的施設「大雪アリーナ」のほか、三浦綾子作品「氷点」の舞台となった「見本林」や「三浦綾子記念文学館」等の施設があります。

## ⑥道の駅「ひがしかわ(道草館)」

ひがしかわ「道草館」は、日本最大の大雪山国立公園の玄関口に位置し、旭川市と旭岳・天人峡温泉を結ぶ道道旭川旭岳温泉線沿いにあります。また、地元特産品などの販売やインフォメーションフロアには、東川町の見所やイベント情報を紹介しております。

## ⑦道の駅「びえい(丘のくら)」

大正初期に建設された美瑛軟石づくりの石倉庫を改造した建物です。美瑛産のカラマツを使用した温もりのある内装に、美瑛産にこだわったソフトクリームやコロッケなどの軽食、農産加工品や町内にアトリエを持つ方の作品を販売しています。

## ⑧道の駅「びえい(白銀ビルケ)」

美瑛白金温泉や白金青い池への入り口にある「白金ビルケの森インフォメーションセンター」としてオープン。美瑛町全体の情報発信を行うほか、シャワールームの設置、アウトドアの販売、美瑛町の食材をふんだんに使用したハンバーガーショップなど、美瑛町をより一層楽しめる施設となっております。